

「第2期新冠町地域福祉計画（素案）」に対するパブリックコメントへの回答

募集期間 令和6年2月1日～3月8日まで

提出者 1名（意見数3件）

意見番号	ページ 目標項目	ご意見等の概要	町の考え方
1	P19 施策の方向（1） 『ボランティア活動の推進』 ①ボランティア活動の推進	ボランティア育成のための講習会が開催されると良い。	地域住民がお互い協力し、地域社会の福祉課題の解決に取り組むためにも、ボランティアの育成は非常に重要と考えております。この為、ボランティアセンターを運営する社会福祉協議会と連携し、ボランティア講習会の開催や有償ボランティア制度の創設について協議して行きます。
2	P21 施策の方向（2） 『住民主体サービスの育成と地域の見守り体制づくり』 ③地域の見守り体制・支え合い活動の強化	独居高齢者には個別に弁当を届けるなどのアプローチがあれば良い。	食事作りが困難な高齢者宅への夕食用弁当を毎日配送する「ふれあい夕食事業」を2事業者へ委託し実施しています。また、配送時に高齢者の安否確認を行ない、体調に異変等がある場合には、家族や役場に連絡する見守り体制も兼ね備えております。
3	P21 施策の方向（4） 『災害時における支援体制づくり』	災害時に急に連携を図るのは難しいと思うので、夏休みに1泊避難訓練を生活館などで行い、炊き出しをしたり宿泊する機会を設けてはどうか。	令和6年度において、旧朝日小学校の校舎を活用し、災害に備えた防災の知識やスキルを身に付ける為の「防災キャンプ」の開催を計画しております。 これまでにない宿泊を伴う訓練になりますので、これから具体的な実施内容を検討し、詳細が決まり次第、町民皆様にお知らせしますので、是非ご参加ください。